

巻頭言



昨今の日本経済の構造的な変革の中、鉄鋼業の置かれた状況は従来にも増して流動的になっており、不透明感は拭えません。鉄鋼業に限らず、あらゆる産業のグローバル化、ボーダーレス化により、より一層、独自性のある企業への転換が求められております。日本を含むアジア経済の低迷はしばらく続く予想されますが、この時期に21世紀に向けての新しい企業選択